

(様式例第11)

青森労病発第545号
令和2年10月2日

青森県知事 殿

住所 青森県八戸市白銀町字南ヶ丘1番地
申請者 氏名 院長 玉澤 直樹



青森労災病院の地域医療支援病院の業務報告について

○ 標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号
氏名	独立行政法人 労働者健康安全機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院

3 所在の場所

〒031-8551 青森県八戸市白銀町字南ヶ丘1番地	電話 (0178) 33 - 1551
-------------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	468床	468床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 6床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置2台、総合血液検査装置、血液凝固自動分析装置、血糖自動分析装置、グリコヘモグロビン測定装置、自動免疫測定装置
細菌検査室	(主な設備) 細菌自動分析装置、安全キャビネット、培養装置、遠心機、顕微鏡、冷蔵庫
病理検査室	(主な設備) 凍結組織切片作製装置、医用写真撮影装置、パラフィン自動固定包埋装置、パラフィン溶融器、全自動染色装置、滑走式マイクローム、蛍光顕微鏡、写真顕微鏡、超低温フリーザー
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、床埋込式体重計、臓器撮影装置、解剖用具一式
研究室	(主な設備) 医局にコピー機、ネット上で文献検索可能
講義室	室数 4室 収容定員 大会議室100人、小会議室30人 第2会議室18人、患者講義室16人
図書室	室数 1室 蔵所数 和書9,242、洋書1,923、その他64冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 18.8㎡ [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	103.0%	算定期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	76.3%		
算出根拠	A：紹介患者の数		5,631人
	B：初診患者の数		5,467人
	C：逆紹介患者の数		4,174人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	※救急部門として設置がないため、重症者の疾病により各医師が担当。
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
9	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
10	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
11	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
12	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
13	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
14	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
15	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
16	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
17	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
18	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
19	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	

20	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
21	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
22	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
23	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
24	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
25	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
26	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
27	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
28	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
29	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
30	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
31	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
32	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
33	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
34	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
35	歯科医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
36	歯科医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
37	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	※HCU病棟に配置している看護師。
38	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
39	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
40	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
41	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	

42	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
43	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
44	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
45	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
46	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
47	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
48	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
49	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
50	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
51	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
52	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	2床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	97.9㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、呼吸循環監視装置等	可
2階北病棟 (集中治療部)	479.0㎡	(主な設備) 全6床、救急蘇生装置、除細動器、呼吸循環監視装置等	可
中央手術室	1,742.6㎡	(主な設備) 全6室、一般手術機器、麻酔機器等	可
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	

4 備考

救急告示病院、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,047人 (373人)
上記以外の救急患者の数	2,746人 (245人)
合計	3,793人 (618人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

① 令和元年度共同利用医療機関延数 2,515件
 ② 上記①医療機関のうち、開設者と直接関係のない医療機関延数 2,515件
 ③ 令和元年度共同利用に係る病床の病床利用率 0.0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

オープンシステム利用に係る病床、CT・MRI・RI等の機器及び図書室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:

職種:

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別添のとおり				全ての医療機関との経営上の関係はない。

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学集談会 (3回) ・ 臨床病理検討会 (1回) ・ 地域医療連携セミナー ・ 感染管理研修会 ・ 医療安全研修会 ・ 市民公開講座 (3回) ・ その他 <p>※詳細は添付資料</p>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	20回
(2) (1) の合計研修者数	887人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	糖尿病内分泌内科		37年	プログラム責任者
	医師	消化器内科		22年	研修実施責任者
	医師	消化器内科		19年	
	医師	消化器内科		10年	
	医師	消化器内科		7年	
	医師	内視鏡科		34年	
	医師	糖尿病内分泌内科		27年	研修実施責任者
	医師	糖尿病内分泌内科		19年	
	医師	神経内科		41年	

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	健康診断部		28年	研修実施責任者
	医師	外科		34年	研修実施責任者
	医師	外科		32年	
	医師	外科		22年	
	医師	外科		19年	
	医師	心臓血管外科		16年	
	医師	心臓血管外科		16年	
	医師	整形外科		28年	研修実施責任者
	医師	整形外科		22年	
	医師	整形外科		18年	
	医師	形成外科		35年	
	医師	小児科		35年	研修実施責任者
	医師	泌尿器科		25年	研修実施責任者
	医師	泌尿器科		10年	
	医師	眼科		34年	
	医師	放射線科		37年	研修実施責任者
	医師	放射線科		36年	
	医師	病理		30年	
	医師	麻酔科		29年	研修実施責任者
	医師	麻酔科		47年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
大会議室	138.2㎡	(主な設備) 視聴覚システム一式
小会議室	69.1㎡	(主な設備) ホワイトボード、
第2会議室	37.8㎡	(主な設備) シャーカステン
患者講義室	26.0㎡	(主な設備) テレビ、ビデオ、シャーカステン

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 各科外来 各病棟 診療情報管理室	日誌等・・・年度別月別管理 外来診療録・・・各科別分散管理方式 入院診療録・・・1患者1ファイル方式 X線写真・・・各科別1312方式
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	年度別月別
	救急医療の提供の実績	看護部・医事課	年度別月別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	研修開催部署及び総務課	年度別月別
	閲覧実績	医事課・地域連携室・総務課	年度別月別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室・医事課	年度別月別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	会議室、診療情報管理室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>○診療記録の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閲覧希望者は病院長宛にカルテ閲覧を希望する詳細の文書を送付。 ・ 文書に基づき院長決裁により閲覧が承諾された場合は、閲覧希望先に連絡し、閲覧日を決定。 ・ 当日所定の場所において診療記録の閲覧を行う。 <p>○病院の管理・運営に関する記録の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閲覧希望者は情報公開窓口（総務課）に法人文書開示請求書を労働者健康安全機構理事長あて提出する。 ・ 病院は開示請求書を本部に送付する。 ・ 本部において審査し、開示決定等を請求者に送付する。 ・ 申請者は開示が決定した場合、開示の実施方法等申出書を提出する。 	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回
委員会における議論の概要	
1 日 時 令和2年2月13日(木) 13時~14時	
2 場 所 青森労災病院 大会議室(管理棟2階)	
3 議事録	
〔司会：事務局長〕	
○ 新任委員紹介 院外委員として、 <input type="text"/> 、及び <input type="text"/> 、院内委員として、 <input type="text"/> 、及び <input type="text"/> が紹介された。	
○ 青森労災病院院長挨拶 青森労災病院の <input type="text"/> です。今日はお集りいただきありがとうございます。 この会に当たりまして、まず一番に話しますけども、今日皆さんがこちらに来る時にお気づきになられたかもしれませんが、ローソンの信号を国道から曲がってこちらに入ってくる角地に空き地ができた頃から、労災病院までのアクセスを良くできないかと色々な方からご意見をいただき、 <input type="text"/> の <input type="text"/> さんをはじめお集りの代表の方々にご相談したところ、青森労災病院の要請ではなく、この地区の患者さんや学生にとっても大切ということで、議員の方にもご足労いただき、市に拡張の申請をしていただき、今年度末から拡張工事が始まり、7mの道路に両側2mの歩道を、角地から130mの道路を整備することになったことに感謝しております。先週の機構本部との病院協議においても、地域の方々のサポートを手厚く受けていることを報告しました。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。 我々が高齢化の時代を乗り切るためには、まずは当院の地区の方々の医療を守っていく、信頼に応えられるような医療を提供していくことが最も大切だと考えております。やはり一番の問題は、毎年ご指摘を受けますが、医師確保が非常に難しい状況ですけれども、来年度も医師35名体制、今年度と同じ人数で医療を続けることが決まりました。しかし、本部等とも相談して将来構想として病床を削減し、それに伴い人員配置を見直し、今年度の4月から動き始めているところです。それにかかわらず超急性期から慢性期まで、この病院を訪れる患者さんの切れ目のない医療を提供できる、急性期ケアミックス型の病院を目指していきたいと思ひます。 皆さんの忌憚のないご意見をいただき実現に向け取り組みたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。	
○ 議 題〔座長： <input type="text"/> 〕	
1 当院の八戸医療圏における位置づけについて 資料No.1により説明。(事務局長) ①地域医療支援病院、②青森県がん診療連携推進病院について説明。	
2 令和元年度(平成31年度)運営状況について 資料No.2により説明。(事務局長)	
(1) 主な取組	
①効率的な病床運用について、②心臓血管外科専門外来開設について、③血液内科外来開設について、④MRIの更新について、⑤放射線治療医の確保について説明。	
(2) 可動病床数 令和元年度から252床に変更	
(3) 医師の体制 附属資料No.1により、令和2年2月1日現在の医師数について、前年度からの増減を含めて説明。	
(4) 主な経営指標 入院患者数、外来患者数及び手術件数について、平成30年度12月累計と令和元年度12月累計の主な増減理由について説明。	
(5) 救急医療への取組 救急体制及び救急患者数について、平成30年度12月累計と令和元年度12月累計の主な増	

減理由について説明。

(6) 地域への主な情報発信

附属資料No.2、3及び7により、地域住民向け広報誌（月刊）、医療機関向け広報誌（季刊）及び医療機関向け広報誌（年1回発行）について説明。

(7) 医療スタッフ及び地域住民を対象とした主な取組（看護部長）

附属資料No.4により、地域連携セミナー、市民公開講座及び出張講習会の開催状況について説明。

(8) 昨年度議事録等

附属資料No.5及び6については、後ほどご覧いただくよう説明。

3 地域の皆様との意見交換（ご意見、ご要望）

（※座長が各委員を指名し意見を聴く。）

() 前はよその病院にかかっていると、紹介状がなければ診てもらえなかった。令和元年度運営状況の「心臓血管外科専門外来開設」には、紹介状がなくても受診できるとあるが、現状は如何でしょうか。

() 初診料の関係で紹介状の有無で料金に差があるが、紹介状がないと診察しないことはない。なお、心臓血管外科に関しては、ベテラン医師から中堅医師へと交代している。

() 今年度医師が1名増えたが、院長の話だと医師の数が不足しているのが大きな課題とのことだが、医師確保における問題点を伺いたい。

() 一番の問題は、医師臨床研修制度が始まり国家試験を通った後2年間色々な病院で研修をするシステムになっているが、その時に当院にいた循環器と呼吸器の先生方4名が八戸市民病院に移られた。弘前大学の教授たちは八戸地域での研修は八戸市民病院でやればよいという考えで、労災病院にいた先生方も市民病院に集約した形となった。また、医師の確保がままならない状況が続いているが、青森労災病院は9割がた弘前大学医学部から派遣を受けており、市民病院は外科系が東北大学、内科系が弘前大学で半々、八戸日赤病院は岩手医科大学である中で、どうしても弘前大学からの医師は当院と市民病院とで競合している。まず市民病院が必要であればそこで補い、その次に当院という形になっており、例えば市民病院の循環器の先生が開業すれば、当院で循環器が必要だとしても市民病院に補充される。なかなか順番は回ってこないが、それでも毎年大学の各教室を回り医師の派遣を依頼している。ご存じのとおり青森県は医師少数県であり、弘前では国立病院と市民病院が合併し新たな医療機関ができるため、大学もまずその補充に取り組むという。なかなか回ってこない状況だが、色々なところを通じてその必要性をお願いしているところだが、なかなか成果が出なくて申し訳ない気持ちです。

() 我々一般市民からすると、労災病院も市民病院も地域の中核的病院のため、市民病院との取り合いという点もあると思うが、連携をとりながら医師確保に努めていただきたい。

() 日赤を含め3つの病院は競合するということではなく、共存、共栄と言いますか、協力していくというスタンスでおります。

() 県内全体では（医師数は）どうか。

() 医師を増やすように努めていると聞いている。弘前大学の医学部では定員120人中60人を地域枠で入学させ、その代わり卒業したら青森県内で働くことを条件にしている。その制度が発足して10年になるが、医学部6年、研修2年、専攻医コース3年かかるため、発足時の医師は現在専攻医の状態であり、まだ地域には戻ってきていないが、県では地域枠の学生が地域のどの病院に派遣するという計画が出てきているため、そろそろ成果がでるのではと思う。

() どのくらいかかるのか。

() 専門医コースを経ても一人前の医師として診られるわけではないが、それでもあと3年位はかかるのではないかと。医師確保に関しては、八戸、むつ、青森等に偏在しないよう取り組んでいる。

() 医師確保に関し、弘大、東北大、岩手医大と、その学校の先生方ばかり固まっているような気がするが、全国的に医師の数はどうなのか。

() 全体的にも不足しているかもしれないが、関東周辺に集中している。卒業したら青森県で働くことを条件に入学するが、ある学生はそれを破って関東に行くこともある。偏在していることが大きな問題である。今年は九州の産業医大の研修医もいるし、昨年は東京の大学から研修に来て、弘大の整形外科に入局した医師もいる。

() 遅れてきて申し訳ない。昨年も病床数が減り、今年も減った。MAXの時からどのくらい減っているのか。

() MAXは511床、これは八戸が新産業都市として活発だった時。現在は許可病床は468床だが、その中で実際稼働しているのは252床。今回の減床は脳外科の医師が移られ、障害

者病棟を廃止したことが大きな要因。循環器内科や呼吸器内科、耳鼻科や産婦人科の医師がいれば、その分の病床が必要になるが、減らす一方ではなく、300~350床ぐらいで総合的な診療ができる病院を計画している。医師の確保につながれば、また戻したいと考えている。

() これ以上減ると我々も心細くなる。病床数が減り手術件数も減っている。これ以上減らさないように頑張っていたきたい。

() ありがとうございます。労災病院を見ている地元の方々が感じていることと受け取ります。

() の です。本日は の代理で出席しております。地域医療構想内で在宅医療の推進が打ち出されているが、貴院における在宅医療の現状や今後の予定を伺いたい。

() 在宅医療については機構本部からも今後考えるべき大切な部分という話になっているが、具体的には市の委託で動いているコネクト8に加入しており、これを続ける。なかなか直接在宅医療に取り組むことはマンパワー上無理だが、コネクト8での連携を介して、患者さんの行き来が多くできるよう、地域包括ケア病棟を利用して、敷居が高くないように在宅や施設の患者さんを受け入れることが大切であり、問題点として認識していることに加え、しっかり取り組んでいきたいと考えている。

() の として参加だが、 の をしている です。私自身も10年前まで労災病院で14年ほど勤務しており、血液関係はないが、 の先代の から10年前に引き継いで、 で勤務している。地域の皆様には大変お世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。また、当院で手に負えない場合は労災病院でいつもお世話になっております。今後ともよろしく申し上げます。医師不足が大変という中で、研修医が昨年度が5名で今年度が4名ということだが、来年度は如何か。

() 現状は2年次が1名、1年次が3名で計4名。来年度はマッチングは4名枠のうち3名マッチに加え、大学とのたすき掛けで1名、計4名の1年次が来る予定。国家試験合格に期待する。

() の です。私自身も労災病院で以前勤めており、当院の整形外科の患者を労災病院で診てもらっており助かっている。この場をお借りして感謝いたします。主な取組の4本柱があるが、医師確保に伴い放射線治療も重点的になると思うため、5本柱で頑張っていたきたい。

() 放射線治療は「がん」領域に含めて、診断から治療を実施していく。

() 医師確保が充分でなければ、状況も色々と変わることが良くわかった。これからも充分な体制に向け取り組むことで、地域としても安心して暮らせるのではないかと考える。特に高齢者の多い世の中になってきているため、3大病院、中堅病院、在宅、施設が全てつながって、職種ごとのネットワーク作りが始まっている。コネクト8に加入されており、患者情報をスムーズに提供できるため安心している。外来患者と救急患者が増えているが、何か取り組んだことがあれば伺いたい。

() 外来に関しては広報活動を継続した。救急に関しては、市内3病院が連携して輪番制をとっているが、とにかく再来の患者さんは、輪番だろうと輪番外だろうと当院で診ることを徹底した。

() MRIの更新とあるが、今後も医療機器の更新は予定されているか。

() 放射線や整形など各分野で整備したいものはあるが、当院が市民病院や日赤と比べ弱い部分は建物が老朽化しているため、建物の修繕をしながら機器に回すこととなる。機器の購入は機構本部に申請することとなるが、来年度要求した物は全て承認された。

() 6~7年前に循環器内科にお世話になっていたが休診となった。眠っている機器もあると思うので活用できるよう、医師不足はここに来る度に伺っているため、そこを回復するような兆しはないのか。

() 大学自体も循環器内科の医師は少ないようだ。週2回市民病院から外来応援医師に来ていただいているのと心臓血管外科の医師もいるため、そのサポートを受けながら続けているが、常勤医師のめどはたっていない。

() 民生委員もやっており、地域住民から労災病院にかかっても他に回されるとよく聞く。医師不足という話が出たが、労災病院はどうなるんだろうと住民が一番心配している。住民の不安をなくしてもらえよう改善していただきたい。

() 貴重なご意見ありがとうございました。

4 その他

() からコメントいただきたいと思います。

() の です。放射線の診断関係を担当しております。医療提供体制といたしましては、市民病院と日赤と当院の3病院が補う関係が構築できていると考えている。市民病院は救急関係、日赤はまんべんなく科があり脳卒中センターがあり循環系を引き受け

ている。当院は生活習慣病、がん、整形外科、泌尿器科ですが、かなり広い診療圏をカバーしている分野になるため、今でも目一杯対応しているが継続したい。当院の診断機器としてCTやMRIが更新されており、特にがん検診に関し威力を発揮できる体制になっている。まだ広報が足りずご存じないかもしれないが、青森県内では肺がんが大腸がんが非常に増えており、死亡率も高い疾患だが、この治療も含めて実施していく。放射線治療に関しては真里谷先生に来ていただいて、県内では恐らく大学と同様の非常に高度な放射線治療で、手術と同じ効果を出すような治療を担っていく。岩手県北や下北から患者を集め、当院のウリにしていきたいと考えている。がん診療に関しては、日赤や市民ができない分野を、CTやMRIを用いた肺がんや乳がん検診、乳がんも非常に増えておりますので、どんどん当院で担っていききたい。循環器等対応できないことはあるが、当院でできることを積極的に実施し、他の地域に負けないような高度な先進医療を提供していきます。

() の です。先ほど の話にもありましたが、医師が急に増えるとか、循環器や呼吸器の医師がたくさん来て昔のようにできるという状況ではありませんので、申し訳ないが現時点ではできる範囲で、先ほどの4本柱、がん、生活習慣病、整形外科、泌尿器科の領域で力を入れて、診療科のない分野は申し訳ないが、白銀地区で労災病院でできない分野もありますので、できる範囲で可能な限り地域の皆さんの期待に応えていけるように、少し病院を小さくして頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

() 1月1日から着任致しました、 の と申します。私は35年以上放射線治療を専門に行ってまいりました。先ほど からお話がございましたけども、既に1月からスタートしておりますが、定位放射線治療、いわゆるピンポイント照射を開始している。また、強度変調放射線治療と言い、腫瘍に線量を集めて周囲の組織にはなるべく照射しないという高度な照射技法ですが、それも既に実現できるようになっております。次年度になると、それがさらに進んだ形の機器の更新ができることになり、テクニカルには弘前大学で行う治療と同様、負けないようなレベルの治療ができます。当院では病床をある程度確保して、近くの通院の方に関しては外来でできるだけ対応するようにして、多少距離のある方々に関しては入院ができる体制をしっかりとって、がんにとって放射線治療がいかに強力な武器であるかが、なかなか強調できなかった部分があると思っておりますので、そういった部分は市民公開講座や研修会を開催し、皆様や関連職種の方々あるいは市民の方々に、しっかりご理解いただくように努めて参りたいと思っております。1月1日に着任したばかりで、三八地区の詳しい医療需要についてはまだ分かっておりませんが、これから頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

() そのほか如何でしょうか。

() 世界的にコロナウイルスの患者が増えているが、八戸市でも大型客船誘致に取り組む中で、もしそういう患者が出た場合、貴院で体制がとれるのかどうか伺いたい。

() 新型コロナウイルス感染症に関しては、この感染症が指定感染症となったことで、第2種感染症指定医療機関としては八戸地区では八戸市民病院です。ただ、これからの患者さんの広がりにより市民病院だけではまかなえない時には、当院はこの地区の協力病院となっておりますので、これから設置される帰国者・接触者外来は既にシミュレーションし、対応できるように準備をしている。

() 医師も感染している状況で大変心配な部分もあるが、もし八戸にそういう患者が来た場合は十分な対応をお願いします。

() 皆様方から非常に貴重なご意見をいただきました。病院の縮小あるいは休床しているのを見て疑念等のご意見は、一方で当院に対する期待の表れだと思って、良い方向に変えていきたいと思っております。これからもどうぞご協力よろしくお願い致します。議題の方を終了させていただきます。

○ 閉 会

() それでは令和元年度青森労災病院地域医療連絡協議会、これもちまして終了させていただきます。ありがとうございました。

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW2名 看護師2名 計4名
患者相談件数	令和元年度 8,047件

患者相談の概要

1 経済的・社会的問題の解決調整

生活費、医療費、在宅療養上の経費等確保のため、福祉、保険制度を利用して援助を行う。

2 診療関係の援助

- ①受診、転医に必要な移送等の措置を行う。
- ②転医に伴う福祉事務所等関係機関との連絡調整を行う。
- ③医療に参考となる事項を医師及び看護師に報告する。

3 人間関係の調整

- ①診療について過剰な期待を持っていることについて正しく理解を与える。
- ②家族関係について援助する。
- ③医師及び看護師の指示に従わない患者の指導を行う。

4 心理情緒的問題援助

- ①問題をともにしながら心理的励ましを行う。
- ②医療に対する誤解などがあれば、正しい理解ができるように努める。

5 社会復帰、退院援助

- ①退院後の生活の場の確保について援助する。
- ②社会復帰につながる訓練施設等の紹介を行う。
- ③社会復帰に必要な家庭内の生活環境の改善を援助する。

6 関係(者)機関との連携・協力

年金事務所、保健所、福祉施設、監督署、職業安定所等の関係機関と接触を深め患者への支援を行う。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 平成23年11月に財団法人日本医療機能評価機構による評価を受け、平成30年2月に更新認定を得ている。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページ内に地域医療支援病院のページを設け、地域医療支援病院に求められる機能と当院の取組を紹介している。 また、毎月地域連携セミナーを開催し、医師や薬剤師などが医療従事者を対象に、当院の取組を紹介している。 さらに、平成26年度から医療機関向け情報誌を発行している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有 ・ 無
・ 退院調整部門の概要 専従看護師2名と専任MSW(社会福祉士)1名を配置し、退院及び退院後の医療、介護、福祉サービス、転院に係る調整及び相談支援事業所等との連絡調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 ・ 無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 青森県がん地域連携パスの策定に参画し、5大がん(胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん)の地域連携パスを運用している。 ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 紹介患者の多い医療機関等を訪問し、地域連携パスの主旨・運用方法を説明し、普及に努めている。	

オープンシステム登録医一覧表(医科—八戸)

登録No.	病 院 名	職 名	医 師 名	郵便番号	住 所	電話番号	緊急連絡先	診 療 科	バツト
1004	あらい整形外科クリニック	理事長	荒井 俊治	031-0081	八戸市柏崎5丁目5-17	0178-71-3000		整	無
1005	あらい整形外科クリニック	院長	荒井 久典	031-0081	八戸市柏崎5丁目5-17	0178-71-3000	090-3368-9204	整・リハ	無
1006	奥寺消化器科外科	理事長	奥寺 進	039-1101	八戸市大字尻内町字八百刈10-3	0178-27-0555	090-4884-5503	外・整・消・皮・肛・内	有
1007	春日井内科	院長	春日井 清	031-0802	八戸市小中野4丁目5-16	0178-43-0418		内・消	無
1009	さくら病院	院長	青木 直人	039-1105	八戸市大字八幡字上樋田8-1	0178-70-2011	090-7335-2305	精	有
1010	八戸マナクリニック	院長	岡田 元	031-0031	八戸市番町9-5協栄ビル2階	0178-20-7565		心療内科・精	無
1011	さしなみ小児クリニック	院長	差波 司	031-0004	八戸市南類家3丁目2-18	0178-47-3473	070-5477-5011	小・循	無
1013	八戸医療生活協同組合 八戸生協診療所	所長	竹本 照彦	031-0004	八戸市南類家1丁目17-2	0178-44-0278		内	無
1014	関口内科クリニック	院長	関口 孝	031-0833	八戸市大字大久保字西ノ平25-72	0178-31-6661	090-3365-5444	内・循・呼	有(19)
1015	高橋医院	院長	高橋 秀禎	031-0031	八戸市番町40	0178-71-3123		外・内・胃・肛	無
1017	塚原整形外科医院	理事長・院長	塚原 孝	031-0039	八戸市大字鳥屋部町1-13	0178-46-2711		整・リハ	無
1018	内科 種市病院	院長	種市 良博	031-0023	八戸市大字是川字土間沢1	0178-96-1325	090-2998-0026	内	有(42)
1019	内科 種市病院	副院長	鳥畑 鴻次	031-0023	八戸市大字是川字土間沢1	0178-96-1325	090-4882-4575	内	有(42)
1020	長谷川内科胃腸科医院	院長	長谷川 泰正	031-0057	八戸市上徒士町2-1	0178-22-3215		内	有(16)
1021	長谷川内科胃腸科医院	医師	長谷川 晃子	031-0057	八戸市上徒士町2-1	0178-22-3215		内	有(16)
1022	吹上眼科	院長	久保 勝文	031-0003	八戸市吹上2丁目10-5	0178-72-3372		眼	有(3)
1023	古町医院	院長	古町 雄四郎	031-0003	八戸市吹上2-14-28	0178-22-5945	0178-43-5145	外・内	無
1024	本田整形外科クリニック	理事長	本田 忠	031-0802	八戸市小中野2丁目9-4	0178-44-8737		整・リウマチ・リハ	無
1025	丸山クリニック	院長	丸山 章	031-0823	八戸市湊高台5丁目24-3	0178-31-2565	090-3123-4629	外・肛・内	無
1026	美保野病院	院長	西山 弘文	031-0833	八戸市大字大久保字大山31-2	0178-25-0111		内・総合診療科	有(123)
1031	室岡整形外科病院	院長	室岡 孝信	031-0021	八戸市長者3丁目3-23	0178-46-1000		整	有(50)
1032	室岡整形外科病院	医局長	伊藤 幸夫	031-0021	八戸市長者3丁目3-23	0178-46-1000		整・泌	有(50)
1034	とみもと小児科クリニック	院長	冨本 和彦	031-0823	八戸市湊高台6丁目6-20	0178-32-5525	090-9036-3326	小	無
1035	みちのく記念病院	理事長・院長	石山 隆	031-0802	八戸市小中野1-4-22	0178-24-1000		内・リハ	有(200)
1036	みちのく記念病院	医師	石山 哲	031-0802	八戸市小中野1-4-22	0178-24-1000		精・神経	有(200)
1038	岸原病院	副院長	高 余州	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	0178-45-8111	0178-41-1575	内・神経	有(93)
1039	岸原病院	副院長	東野 治仁	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	0178-45-8111	0178-22-7846	内	有(93)
1040	岸原病院	副院長	鈴木 一	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	0178-45-8111	0178-70-1270	内・神内	有(93)
1041	向井田胃腸科内科医院	副院長	向井田 英明	031-0821	八戸市白銀1丁目10-5	0178-33-2268		内	無
1042	橋本耳鼻科	院長	橋本 敏光	031-0823	八戸市湊高台5丁目20-18	0178-33-8711		耳鼻科	無
1043	八戸新井田クリニック	院長	池田 成徳	031-0816	八戸市新井田西2丁目1-25	0178-25-7070		泌・内・皮膚・リハ・麻	有(19)
1044	村田内科	院長	村田 貞幸	031-0816	八戸市新井田西2丁目7-8	0178-25-0888	090-5189-3450	循環器科・内科	無

登録No.	病院名	職名	医師名	郵便番号	住所	電話番号	緊急連絡先	診療科	ペット
1045	大里脳神経リハビリテーションクリニック	院長	大里 孝夫	031-0816	八戸市新井田西3丁目15-15	0178-30-1112	0178-31-6703	脳外・リハ・神内・内科	無
1046	於本病院	院長	於本 淳	031-0036	八戸市大工町10番地	0178-43-4647		内	有(50)
1047	於本病院	副院長	於本 晴美	031-0036	八戸市大工町10番地	0178-43-4647		内	有(50)
1048	おっとも脳神経クリニック	院長	乙供 道則	031-0081	八戸市柏崎4-14-48	0178-41-1115	090-2607-1055	脳外・放科・リハ・内・神	無
1049	ろくごう整形外科リハビリテーションクリニック	院長	六郷 知行	031-0802	八戸市小中野1-4-52	0178-71-2200		整形・リハ・リウマチ	無
1050	なかざわほくろクリニック	院長	中澤 成史	031-0823	八戸市新井田字館下1	0178-30-2020		整形・リハ・リウマチ	無
1051	東八戸病院	院長	秋山 弘之	031-0833	八戸市大久保西ノ平25-440	0178-32-1551		神経科・精神科	有(102)
1054	山田整形外科クリニック	院長	山田 史朗	031-0821	八戸市大久保西ノ平25-440	0178-32-2700		整形	無
1056	湊病院	院長	工藤 清太郎	031-0813	八戸市大字新井田字松山下野場7-15	0178-25-0011		内・外	有(290)
1057	湊病院	副院長	工藤 一顕	031-0813	八戸市大字新井田字松山下野場7-15	0178-25-0011		内	有(290)
1058	船越内科医院	院長	船越 洪	031-0822	八戸市白銀町大沢頭19-1	0178-33-0047		内	無
1059	船越内科医院	副院長	船越 正行	031-0822	八戸市白銀町大沢頭19-1	0178-33-0047		内	無
1061	きどクリニック	院長	城戸 啓治	031-0821	八戸市白銀3丁目6-1	0178-32-1700		泌尿器科	有(16)
1062	すわかクリニック	医師	後藤 高志	031-0803	八戸市諏訪1丁目1-9	0178-47-3636		婦人科	無
1063	八戸平和病院	院長	濱田 和一郎	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		総合診療科	有(121)
1064	八戸平和病院	副院長	宮田 章正	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		麻酔科	有(121)
1065	八戸平和病院	医局長	藤井 一晃	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		整形外科	有(121)
1066	八戸平和病院	外科部長	森 達也	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		外科	有(121)
1067	八戸平和病院	泌尿器科長	三浦 浩康	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		泌尿器科	有(121)
1068	八戸平和病院	麻酔科長	窪田 武	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		麻酔科	有(121)
1069	八戸平和病院	循環器科長	小泉 誠二	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		循環器	有(121)
1070	八戸平和病院	消化器科医師	佐藤 正昭	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		消化器科	有(121)
1072	八戸平和病院	泌尿器科医師	工藤 大輔	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		泌尿器科	有(121)
1074	八戸平和病院	整形外科医師	中田 善博	031-8545	八戸市湊高台2丁目4-6	0178-31-2222		整形外科	有(121)
1075	岬台医院	院長	品川 博樹	031-0842	八戸市岬台2-6-5	0178-34-0784		内科・消化器内科	無
1076	はちのへファミリークリニック	院長	小倉 和也	031-0072	八戸市城下4丁目11-11	0178-72-3000	080-3233-3245	内科・小児科	無
1077	ひかり内科クリニック	院長	金田 泰一	031-0804	八戸市青葉3丁目31-5	0178-73-5100		内科	無
1078	はちのへ西脳神経クリニック	院長	真鍋 宏	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池15-1	0178-20-8122	0178-20-8123	脳外・脳血管内外科	無
1079	はちのへ西脳神経クリニック	副院長	加藤 孝顕	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池15-1	0178-20-8122	0178-20-8123	脳外・脳血管内外科	無
1080	青南病院	医師	千葉 潜	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1081	青南病院	医師	安ヶ平 忠也	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1082	青南病院	医師	千葉 良	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1083	青南病院	医師	川端 栄蔵	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1084	青南病院	医師	田名部 茂	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)

登録No.	病院名	職名	医師名	郵便番号	住所	電話番号	緊急連絡先	診療科	ペット
1085	青南病院	医師	呂芳澤	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1086	青南病院	医師	深澤隆	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1087	青南病院	医師	伊藤友子	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1088	青南病院	医師	馬渡晃弘	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	0178-27-2016	0178-70-1564	精神・神経・内科	有(199)
1089	城下やえがき整形外科	医師	八重垣誠	031-0077	八戸市城下4-4-18	0178-73-7380	0178-73-7381	整形外科	無
1090	白山台メンタルクリニック	医師	川端栄蔵	039-1112	八戸市南白山台一丁目10-5	0178-20-0602	0178-20-0604	心療内科・精	無
1091	黒田内科胃腸科医院	医師	長谷川達郎	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	0178-45-7777	0178-47-8583	内科・胃腸科・外科	無
1092	黒田内科胃腸科医院	医師	長谷川裕子	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	0178-45-7777	0178-47-8583	内科・胃腸科・外科	無
1093	黒田内科胃腸科医院	医師	黒田英克	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	0178-45-7777	0178-47-8583	内科・胃腸科・外科	無
1094	じょうないクリニック	医師	林彰仁	028-7917	岩手県九戸郡洋野町種市56-80-1	0194-66-7575	0194-66-7611	閉院(令和元年)	無
1095	はちクリニック	医師	八森久	031-0001	八戸市廻家4丁目21-7	0178-38-8033	0178-38-8033	内科	無

令和元年度 講演会・協議会等開催状況

番号	開催日	名称	対象	主催	講師	参加者数
1	4月17日	糖尿病教育入院患者に対する薬剤師の関わり	医療従事者他	医事課	薬剤師	16
2	4月24日	抗がん薬治療中の暮らしのサポート ～食事・運動・感染予防について～	医療従事者他	医事課	看護師	33
3	5月29日	警察庁OBが語る院内暴力対応の実態	医療従事者他	医事課	外部講師 (警察官OB)	96
4	6月2日	・便秘や肥満も解消！ 体内時計を意識した食生活のすすめ ・アンチエイジングに効果的な食べ方	一般市民	医事課	・医師 ・管理栄養士	131
5	6月12日	・バンコマイシンの効かない黄色ブドウ球菌(VISA/VRSA) について ・Bouveret症候群の一例	医療従事者/職員	職員教育委員会	医師	34
6	6月26日	看護師のための見逃してはいけない画像所見(CT編)	医療従事者他	医事課	放射線技師	33
7	7月31日	健康寿命について	医療従事者他	医事課	医師	23
8	8月28日	医療従事者のためのリラックスヨガ	医療従事者他	医事課	外部講師 (ヨガインストラクター)	24
9	9月7日	健康寿命と口腔がんと私	一般市民	医事課	医師	64
10	9月11日	・生活習慣病センター報告-第4版-:動脈硬化性疾患発症率の終年変化と糖尿病治療 ・当院の抗菌薬使用状況	医療従事者/職員	職員教育委員会	・医師 ・薬剤師	29
11	9月18日	薬薬連携第5回症例勉強会	医療従事者他	医事課	薬剤師	15
12	9月25日	「もう一度確認しよう！院内感染のポイント 耐性菌～手洗いまで」	医療従事者他	医事課	臨床検査技師	44
13	10月30日	治療と仕事の両立支援	医療従事者他	医事課	看護師	18
14	11月13日	・糖尿病診療におけるグリコアルブミン(GA)の測定について ・血液培養の適正化活動と運用方法変更による効果と影響	医療従事者/職員	職員教育委員会	・医師 ・臨床検査技師	28
15	11月27日	睡眠時無呼吸症候群の診断・治療	医療従事者他	医事課	外部講師 (臨床検査技師)	18
16	11月29日	「肺癌の一例」	医療従事者/職員	職員教育委員会	・研修医 ・医師	19
17	11月30日	・血管から健康になろう ・椅子にかけたままで行う体操教室	一般市民	医事課	・医師 ・外部講師 (インストラクター)	150
18	12月18日	腰痛の予防と運動療法	医療従事者他	医事課	理学療法士	11
19	1月27日	漢方学術セミナー	医療従事者他	医事課	外部講師	80
20	2月26日	病理解剖について	医療従事者他	医事課	医師	21